

この街が  
好きだから

大須賀一雄

武蔵野スケッチ物語

④7



見慣れた風景も、絵になるとちょっと違う趣が出てきます。  
そんな武蔵野の風景を、大須賀一雄さんが春夏秋冬で切り取って描きます。

## 小金井公園にて

今回の作品は、昨年の冬に都立小金井公園の一隅にあるバスケットボールの練習場の近くで描いたものである。桜で有名な小金井公園は、都内でも有数の広い公園で、昭和二十九年に正式に開園して以来、年間を通して各地からやって来る大勢の人々の憩いの場として知られている。

小金井公園の名称は小金井だが、同公園の東側一帯は幅約二百メートルにわたり武蔵野市に属しており、テニスコートや野球場などのスポーツ施設を完備している。

周囲には、ケヤキやヒマラヤ杉などの樹木がうっそうと茂り、昼でもほの暗い緑陰をつくっている。木立の間を縫うように設けられた小径は、家族連れや犬の散歩でにぎわう所でもある。

すてきな公園なので、まだ行ったことのない方は、行ってみてはいかがでしょう。

(絵と文 大須賀一雄)

大須賀一雄 (おおすか・かずお)

水彩画家。1937年群馬県出身。武蔵野市在住。画材は透明水彩。元JR東日本国際課勤務。JR東日本絵画クラブ初代事務局長。これまでJR東日本の駅の絵を1000点以上描き、新聞、雑誌、テレビなどでも紹介されている。著書は『あなたの街の駅物語』(日貿出版社)、『スケッチお手本帖』(素朴社)ほか。現在、JR東日本の大人の休日倶楽部のカレンダーの絵を担当。海外スケッチ旅行歴も長く、これまで50カ国以上を訪れ、個展も25回を超える。